

2024年度

# アニマルウェルフェア 推進委員会 活動報告

2025年6月23日

委員長: 石川 輝芳



2025JPPA総会

1

## 目次

- 01 アニマルウェルフェア推進委員会とは
- 02 委員一覧
- 03 事業概要
- 04 委員会活動報告
- 05 ロゴマーク・ポスター作成
- 06 WEB勉強会について
- 07 今年度の活動

2

01

## アニマルウェルフェア推進委員会とは

アニマルウェルフェア推進委員会は、日本におけるアニマルウェルフェア（以下、AW）への関心の高まりに対応し、適切な飼養管理と国際獣疫事務局（WOAH）のコード（基準）に則った日本としてのAW（農水省の新しい指針）を普及する目的で、2022年に立ち上げられました。

2024年度は、農林水産省の持続可能性配慮型畜産推進事業事業を活用し、活動しました。

3

01

## 農水省のAW指針とは

世界基準であるWOAHの基準に沿うもので、「実施が推奨される事項」と「将来的な実施が推奨される事項」に分けて記載されている

### 農水省指針で 実施が推奨される事項

- 【管理】
  - ・去勢、断尾、歯切り等の処置は、獣医師等の指導の下、苦痛を可能な限り少なくする方法で行う
  - ・歯切りは、歯の先端のみをやすりで研磨するかニッパーで適切に切断
  - ・候補豚は身体的に成熟するまで繁殖させない
- 【栄養】
  - ・豚の発育段階等に応じた適切な栄養素を与える
- 【豚舎】
  - ・豚舎は、疾病、損傷及びストレスのリスクが軽減されるよう設計・建築し、維持管理する

### 農水省指針で将来的に 実施が推奨される事項

- 【飼養方法等】
  - ・豚は社会的な動物であり、群で生活することを好むことから、繁殖雌豚はなるべく群で飼うよう努める。

4

# 01

## アニマルウェルフェアについて伝えたいこと

アニマルウェルフェアというと、母豚の群飼を思い浮かべがちですが、農水省の指針では、群飼は今すぐに取り組む事項にはなっていません。アニマルウェルフェアの正しい知識の普及も委員会活動の一環です

1

### すでにほとんどが 取り組んでいる内容

「実施が推奨される事項」をみても、多くの農場が普通の管理としてやっていることがほとんど

2

### AW＝群飼ではない！

群飼については、「将来的に実施が推奨される事項」には記載されているものの、今すぐ取り組む必要はない

3

### 豚を快適に飼う ことがAW

豚を快適な環境で飼うことが最も動物への福祉（アニマルウェルフェア）につながる

5

# 02

## 委員一覧

|     |     |        |              |
|-----|-----|--------|--------------|
| 委員長 | 宮城県 | 石川 輝芳  | (株) しわひめスワイン |
| 委員  | 北海道 | 高橋 洋平  | (有) 高橋畜産     |
|     | 青森県 | 川村 高明  | (株) 川賢       |
|     | 千葉県 | 菅谷 知男  | (農) 清和畜産     |
|     | 千葉県 | 柴 香代子  | (有) 柴畜産      |
|     | 新潟県 | 島田 福德  | (株) 鬼や福ふく    |
|     | 香川県 | 太田 宗一郎 | (株) STPF     |

6

# 03

## 事業概要

✓ 委員会活動

✓ ロゴマーク作成

✓ 普及用ポスター作成

✓ WEB勉強会の実施

✓ 事業報告書の作成

7

# 04

## アニマルウェルフェア推進委員会

### 第1回AW推進委員会

日時：2024年5月22日（水）  
午後1：30～

- 議題1  
今年度の事業推進の方向について  
石川 輝芳 委員長
- 議題2  
AW指針に関する認知度調査について  
事務局
- 議題3  
取引先によるAWの方針説明会について  
石川 貴泰 委員
- 議題4  
日本型AWの普及推進に関する進め方について

### 第2回AW推進委員会

日時：2024年11月 25 日（水）  
午後2：30～

- 議題1  
明治大学AW研究について  
明治大学 佐々木羊介准教授
- 議題2  
令和7年度AW指針に関する認知度調査の進捗について  
中野 光氏（農水省畜産振興課）
- 議題3  
今年度の事業推進の方向について  
石川 輝芳 委員長

### 第3回AW推進委員会

日時：2025年 2 月 25 日（火）  
午後3：00～

- 議題1 今年度の事業の進捗と、  
来年度の事業について
- ※AWセミナーと併催

8

## 持続可能性配慮型畜産推進事業について

国内における飼養管理や畜産物の流通等の実態の調査、多様な飼養形態におけるAW向上に関する科学的知見の収集、国際機関や諸外国等におけるAWIに関する検討・実施状況の調査、畜種ごとのAWIに配慮した飼養管理の普及推進のための検討及び検討の結果を踏まえた事業成果報告書の作成等を行う。

本事業を活用し、  
①普及のためのロゴマーク作成  
②ポスター作成  
③WEB勉強会の開催  
などを行いました。

## ロゴマーク 作成



本事業では、生産者の皆さんのアニマルウェルフェアに適した管理の普及を目的として、ポスターとロゴマークのマグネットを制作しました。ぜひ農場・豚舎の中など、豚を管理する人の目に留まる場所に貼っていただければと思います。

# 05

## ポスター 作成



アニマルウェルフェアに沿った管理が絵でみてわかるポスターです。水に強い紙ですので、豚舎の中などにも貼っていただけます。  
ラミネート加工等の工夫でさらに長持ちしますので、農場のなかで創意工夫のうえ、ご活用いただければと思います。

11

# 06

## アニマルウェル フェア勉強会

日時 2025年2月25日  
13:00~15:00  
場所 TKP東京カンファレンス  
センターよりWEB配信  
参加者 申込24サイト 29名  
(講師、事務局除く)



### 農水省のアニマルウェルフェア 指針について

農林水産省畜産振興課 中野 光 氏



### 生産者としてどのようにアニマル ウェルフェアに向き合うか

石川 輝芳 氏



### 豚を健康に育てることが アニマルウェルフェアの第1歩

エクシュタイン・スワイン・サービス  
宮下 マリ 氏

12



### 普及のための制作 物作成

今年度は研修用の映像等の制作を検討しています



### セミナー開催

都内会議室でセミナー開催予定です



### 委員会活動

活動内容検討のための委員会を3回開催予定です

ご清聴ありがとうございました